２学年第５時「ルーレット・トーキング」支援プラン　自己開示

【エクササイズ（ＥＸ）＆準備物】

　　ウォーミングアップ『班のみんなで名画を作製』：画用紙・色ペン（各班１）

　　メインＥＸ『ルーレット・トーキング』　　　 ：トーキング用ルーレット（各班１）

【ねらい】

　班の中でひとり一人の発想で描くことにより、それぞれの個性が描かれるのだが、先に描いた人の意図を想像しながらつないでいこうという気持ちが、ひとつの作品を完成させる。一方、今回のトーキングでは、ルーレットを回すことで班でひとつの話題が決まる。同じ話題についてのトーキングなので、話の中に現れる共通点や違いを、各々がうなずいて聴き入れやすい状況が生まれる。共感性を育てることに重点を置いたウォーミングアップとエクササイズである。

【概要】

　班で一枚の画用紙を使い、一人ずつ順番に絵を描き込むことによって一つの絵を完成させる。思い思いの絵を描き込んでいくので、予想外の楽しい絵が完成するが、前の人からバトンを引き継いで作成することに意味がある。前の人のイメージを想像するということは、トーキングにも引き継がれ、ルーレットを回して決まったお題について、ひとり一人が語っていく。「へー、そうなの。」「うん、わかるわかる。」というトーキングチェーンを形成していく。

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ | 『班のみんなで名画を作成』  ①班で画用紙、色ペンを使い、一人ずつ絵を描いて作品を完成させる。  ②班で回る順番を決める。（回り方は班に任せる）  ③班で一人ずつ描いていき、全員にまわったところで完成。  　※他人が見て嫌な思いのするようなものは書かないように  ④完成した絵に班で題名をつける。  ⑤学級でシェアする。 | ○テーマを指定する。  ○最初の人が描くものを指定する。ハートや丸など。  ○一人どのくらい描くのか等、学級の状況に合わせる。  ○必要に応じてその他のルールも考えさせる。パスは1回ＯＫとか。 |
| エクササイズ | 『ルーレット・トーキング』  ①教員のモデリング（二人いれば、語り役と聴き役に分かれる）  ルーレットの針が止まった話題について語る。例えば、「最近」というテーマなら、「最近のわたしのマイブームは・・」「最近気になっていることがあって・・」という話をする。聴いている側は、「へー、そうなんだ。それでどうなったの？」というように、うなずいたり訊いたりすることができる。  ＊ルーレットのシートはＨＰよりダウンロードできます。  ②班で回る順番を決める。  　＊回り方は班で工夫できる。 | ○教員が一人しかいないときは、モデリングはしない。  ○単語のみでコミュニケーションをとるのではなく、ちゃんとした会話で、受けとめたり、訊いたりすることで会話が充実していくことの心地よさを提示する。 |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| エクササイズ | ③班で決まった順番どおりルーレットを回して、止まった話題について回した人から順番に全員話をしていく。  ④一人ひとりの話について訊きかえすなどして、話を繋いでいく。  ⑤終了時間まで続ける。 | ○ひとつの話題について時間をかける。  ○うまく回っていない班には支援を入れていく。  ○同じ話題にルーレットが止まったときなど、どうするかは班で決める。 |
| ふりかえり・シェアリング | ①グループで気づきを交流する。  　＊班で名画を描いてどうだったか。  　 ＊トーキングをしてどうだったか。  ②ふりかえり用紙に記入する。 | フィードバックの視点  ・名画を描いている時やトーキングをしている時の班や個人の様子を返していく。特に、普段では見られない子どもの姿への教員の気づきがあれば・・。 |

〔参考文献〕 『共同絵画』國分康孝・國分久子監修

「構成的グループエンカウンター辞典」図書文化社

【ポイント】

　『すごろくトーキング』のように多様な話題から深化させていくのではなく、ルーレットによって一つに絞り込んだ話題から、拡げたり深めたりするトーキングである。うなずいたり、訊きかえしたりするコミュニケーションにおけるスキルトレーニングとしての要素も含んでいる。

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| ・班のみんなで羊を描いて、一人一人違うけど良い感じに一つのものが描けた。  ・人によって描きたいと思うものが違うので、自分にない発想も出てきて驚いた。  ・人のいろいろな一面が見えたのが良かったです。自分ももう少し成長したいです。絵をまた描きたい。  ・なかなか普段の生活では相手の話をじっくり聞くということを意識していないので、受け流しているところがあるなと思いました。じっくり話を聞くことは大切だと思いました。  ・しっかり伝わるように話すことや、話す人を見て聞くことが大切だと思った。  ・答えるのが大変だったときもあったけど、自分で自分のことを話すのは大事なことだなぁと思った。これからも恥ずかしがらずに話をしていこうと思います。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| ・子どもたちはトーキングの授業が大好きなのですが、特に今回のルーレット・トーキングでは、突っ込んだ話ができたようで、よい雰囲気で終われました。友達が相づちをうって自分の方を見ながら聞いてくれると安心して話せるという実感ができた生徒が多かったようです。班でこのようなトーキングをすることが学級全体の雰囲気にもよい影響を及ぼしていけば嬉しく思います。 |

＊道徳の内容項目との関連：　2-(3) 友情・信頼　　4-(7) 愛校心

（担当：秦　加代子）